

## 【家庭教育支援チーム】

### (1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	大崎市家庭教育支援チーム (呼称: チームおおさき )
②活動拠点	大崎市地域交流センター ほか市内社会教育施設
③活動範囲	大崎市内全域
④組織体制	17 人 子育てサポーターリーダー11人／子育てサポーター3人／元教員1人／ その他2人
⑤活動開始年度	平成29年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 大崎市教育委員会 生涯学習課 (TEL)0229-72-5035 (E-mail)ed-shogaku@city.osaki.miyagi.jp

### (2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他( )
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <div style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</div>

<p><b>③活動内容</b></p>	<p><b>【具体的な活動内容】</b></p> <p>(1) 学習機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭教育に関する出前講座（年間5～10回程度） 子育て支援センターや幼稚園、小中学校等の希望に応じ、PTA研修や入学説明会などの場でアウトリーチ型の家庭教育講座を実施している。</li> </ul> <p>(2) 家庭教育学級・子育て講座等における指導・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○親学びサロン（市主催）の企画・運営への協力（年間4回程度） 市主催の家庭教育支援事業の企画や運営を行政と協働で行っている。</li> </ul> <p>(3) 家庭教育に係る相談対応や情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○親学びサロン内での相談対応</li> <li>○家庭教育に関する啓発活動（年間2回程度） 出前講座や親学びサロンで参加者の相談に応じるとともに、各種イベント等で家庭教育に関するPRを行っている。</li> </ul> <p>(4) 支援チームの資質向上を図るための研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スキルアップ研修の実施（年間1回程度）</li> <li>○定例会内での自主研修の実施（年間5回程度）</li> <li>○県教委主催各種研修会への参加（随時） 家庭教育支援に関する知識、技術の向上はもちろん、自身の持つ知識や技術をチーム員の間で共有する機会を設けている。</li> </ul> <p>(5) その他、家庭教育の推進に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○定例会（月1回）での家庭教育に関する情報交換 行政とチーム員の情報共有やチーム員間の情報格差をなくすため、定例的でゆるやかな会議を開催している。また、欠席者にはグループLINE等で情報共有を図るようにしている。</li> </ul>
<p><b>④活動の成果</b> (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間4回の親学びサロンに継続して参加している保護者が、参加するたびに表情や態度が柔らかくなってきた。</li> <li>・出前講座でうかがった学校の先生から、第三者から保護者へアプローチすることの有用性について評価いただいた。</li> <li>・アウトリーチ型の家庭教育講座を重点的に実施することにより、本来支援を必要とする保護者に対して家庭教育の重要性をお伝えすることができた。</li> <li>・イベント等の場を活用しての啓発活動により、より広く家庭教育支援チームの存在を認知されるとともに、民生部局との連携がしやすくなった。</li> </ul>

<p><b>⑤活動財源</b> (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名: 学校を核とした地域力強化プラン )</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )</p>
------------------------------------	--